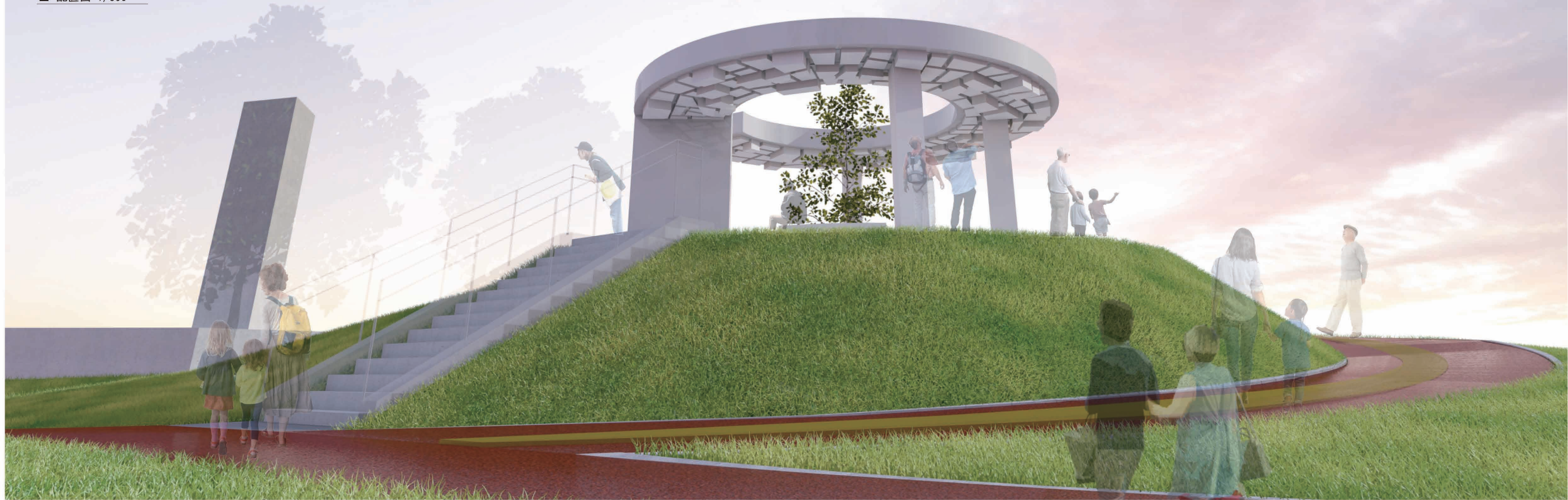


■ 配置図 1/600

## 見上げる街並み

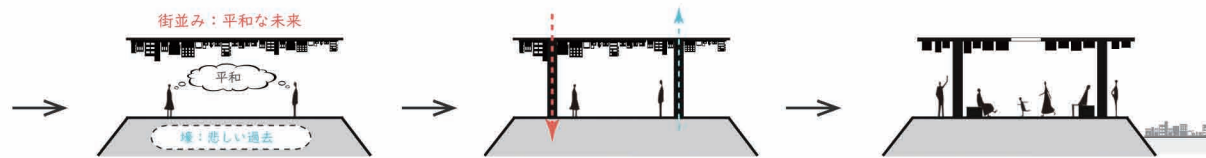
那覇市と豊見城市の境界に位置し、閑静な住宅地と豊かな緑に囲まれた海軍壕公園。  
 しかし、戦時中は日本海軍の司令部となる壕が置かれ、  
 その中で多数の将兵が玉砕した歴史がある戦跡公園としての一面も有ります。  
 この公園の最も高い位置にある丘に平和の尊さを未来に伝えていくような展望施設を提案します。



### ■ デザインコンセプト



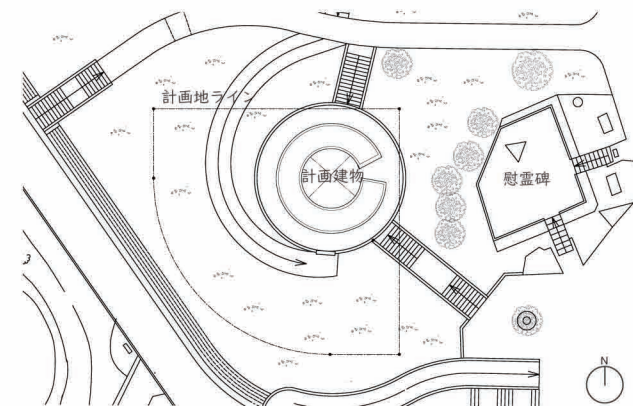
戦跡公園でもある海軍壕公園。  
 この公園で最も高い丘に立った時  
 目の前に広がるのは平和な街並み。  
 この街並みこそが平和の象徴であると考えた。



展望施設の天井に平和の象徴である  
 街並みを投影させる。  
 地下の壕（過去）と平和な街並み（未来）  
 の間に立ち、平和を想う場を作る。

天井を構成する街並みの一部が  
 屋根を支える柱となり  
 過去と未来を繋ぐ役割を果たす。

天井の街並みは平和への想いも投影する。  
 見上げる事で、戦争で失われた尊い命の上に  
 平和な街並みや日常がある事を未来に伝える。



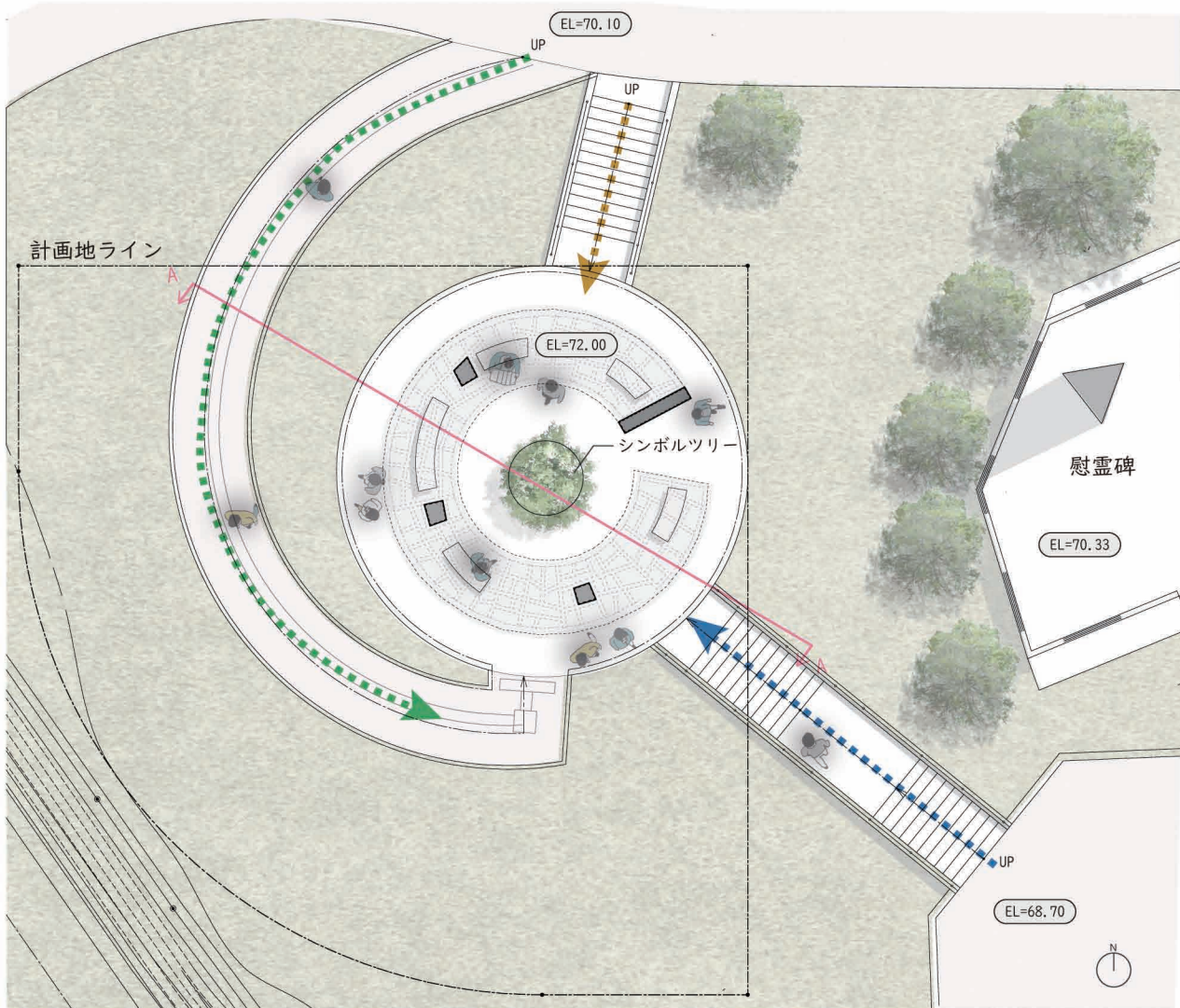
### ■ 配置計画

展望台となっている丘の頂部が同心円上の地形となっている為  
 建物も敷地形状に合わせた同心円型としました。  
 円の一部を慰霊碑に向かって開く事で慰霊碑を優しく包み込む様なデザイン  
 としています。  
 建物のシンボル性を高める為、円の中央部に吹抜けを設けシンボルトリーを  
 配置しています。

### ■ 建築概要

面積  
 (屋根面積) : 39.15 m<sup>2</sup>  
 階数 : 地上1階  
 構造 : 鉄筋コンクリート造





■平面図 S=1/200 3つの動線に対して正面性の無い形状としています。中央のシンボルツリーを囲むようにベンチも配置しています。

■平面図 凡例

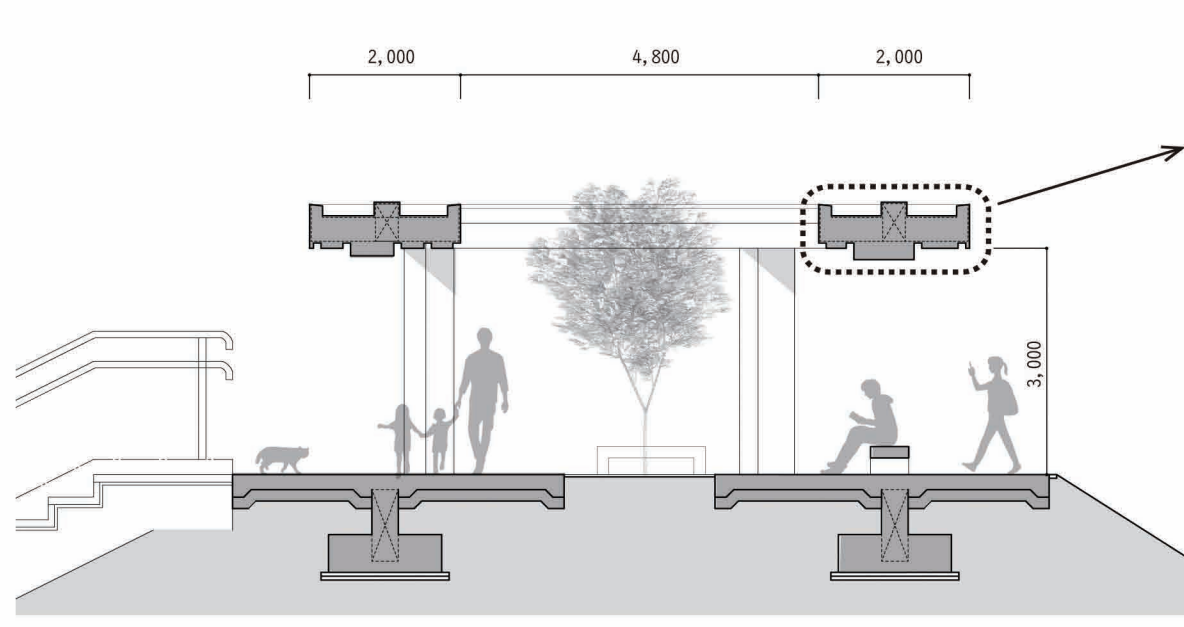
- 公園駐車場側からの動線
- ビジターセンター・公園北側からの動線
- ビジターセンター・公園北側からの動線 (車いす対応動線)

■動線計画及び天井の見え方について  
 今回の計画地として、展望施設に至る一部スロープ部も含まれていましたが、敷地が整った丘の形状である事からスロープ部は現状のままにして丘の頂上だけの計画としました。  
 また、展望施設に向かう動線の全てから天井のデザインやシンボルツリーが見えるようにしてシンボル性の高い施設になるようにしました。



■展望施設デザインについて  
 展望施設への動線が3箇所考えられる事から、敷地形状に合わせた同心円の屋根として、正面性の無い形状としています。  
 どの動線からでも天井のデザインやシンボルツリーが均等に見えるようにしています。  
 また、地中から立ち上がった壁柱と屋根が同じ幅で円を描き、未来に向かって平和の想いを伝えるように伸びていくデザインとしています。

■構造について  
 展望施設の構造は鉄筋コンクリート造のラーメン架構とし、壁柱や柱から基礎へ荷重を伝達します。梁は逆梁として、天井デザインの施工性に配慮します。  
 また、雨水については屋根の先端から末端の壁柱方向に向けて水勾配を取り、壁柱内に樋を設けて処理します。  
 外壁等仕上についても予算の範囲内で耐候性に優れた塗料を用いてメンテナンス性にも配慮します。



■天井デザイン納まりイメージ  
 街並みをモチーフとした天井デザインはスラブを下フカシしてベニヤ等で欠込んで道の部分を表現していきます。一部は補強筋を入れてフカシを大きくし、街並みらしさを表現しています。

フカシの大きさにバリエーションを持たせる事で街並みらしさを表現しています。

■A-A断面図 S=1/100  
 雨や日差しを出来るだけ遮れるよう天井高さを約3,000mmとして計画しています。

